

第6次水俣市総合計画策定市民ワークショップ 参加者アンケート

平成30年7月18日

本日の市民ワークショップについてお尋ねします。

質問1 今日の内容はどうでしたか（あてはまる番号を○で囲んで下さい。）

- | | |
|-------------|------|
| 1 おもしろかった | 28 人 |
| 2 普通 | 5 人 |
| 3 おもしろくなかった | 0 人 |

質問2 どういったところがおもしろかったですか。また、おもしろくなかったですか。

- よく知っている人、初めての人の、同じテーマでいろいろ話が聞けて(顔が繋がって)おもしろかった。
- 自分の意見がしっかり言えた。
- いろんな立場の方の意見や考えに触れられた。
- いろんな目線があってよかった。
- 若い人の具体的な生活が見えました。
- 多くの人の話をきくことができたこと。
- ワールドカフェ、色々な方々と話せる機会があってよいが、議論が深まる前に移動となるので物足りなかった。
- いろんな考えが出てきていた。
- ワールドカフェ方式で複数の好きなテーブルでの議論が面白かった。
- 他の方の新しい意見を聞いたこと。
- 知っている方とも真面目に話せたこと。
- 1人の方が長く話されるのはおもしろくなかった。
- ワールドカフェ方式でのワークショップが初体験だったので面白かったです。
- 普段自分が関わりが薄いジャンルでの話が面白かったです。
- 面識のない方とたくさんお会いできた。出会いに感謝。
- グループが変わるといろいろな視点から意見が出る。そこが面白かった。
- 他業種の方々と話す機会を持つことができ、自分にないユニークな発想を知ることができた点。
- 年齢、住む環境、職種で全く違う意見があり、面白かった。
- 水俣について考える良い機会だった。
- いろんな意見を聞いて面白かった。
- 1人が話せる時間が少なかった。
- さまざまな考えや意見を持つ方と交流でき、自分の考えが深まった。
- 市民の皆様からのユニークな意見、熱い想い。
- 他の方の新鮮な意見が聞いた(勉強になった)。
- 様々な職業、年齢の方々がいらっしやっただので、1つのテーマでもいろいろな角度、視点の意見が聞いたことがおもしろかったです。
- 普通の会議と違って、お茶・お菓子を食べながら進めて行くことに新鮮味を感じた。
- 色々な角度からの意見が聞いたことが面白かった。
- 多様な人々の考えや意見を聞くことで自分の幅も広がる。
- 同じ水俣に住みながらも、考え方はいろいろあるなーと思いました。
- 興味深い提案が聞けて、とても面白かったです。
- 異年齢、異業種、出身が違う方など、たくさんの意見が聞けて面白かったです。
- 自分では思いつかない意見もあり、興味深かったです。
- 様々な年代の考え、意見が聞いたこと。
- 自分の中でぼんやりと考えていたところが話を深めていくうちに明確になっていったところ。
- 考えを共感しあえたところ(話が合うのは楽しい)。

- なかなか具体的なアイデアを出すことができなかった。
- みんなでの意見交換。
- 様々な立場の人たちが、水俣の未来について話し合うところです。特に一つのワークショップの中でメンバーを入れ替えながら行ったのが面白かったです。

質問3 今回のワークショップでの気づき・発見など、印象に残ったことは何ですか。

- 同じ職場から4人で参加している方々がいた(とても新鮮)。ワークショップに参加するメンバーの顔ぶれが同じにならないために、職場単位の若者(3~4人)を誘うと参加のしきいが下がるのかなと感じた。
- 若い人たちが多く参加して熱い議論が交わされていた。
- 様々なテーマが設定されていたが、どのジャンルも、背景や課題など密接にリンクする部分が多いと感じ、連携や相乗効果の可能性がある。
- タツノオトシゴの話
- 需要があるのに掘り起こせていないことが多いのだなと思いました。
- 移住者が結構多いのだなと思いました。
- 10年後を具体的に考えるのは難しかった。
- 時間が短い。
- 「10年後の水俣」ということで具体的な期間を与えられたうえでのワークショップで、現実的な議論ができた。全ては人づくりから始まるのかなと思った。
- 皆さん水俣市の10年後に熱い思いがある！
- 皆さん、よりよい町づくり、もっと良くしようという意識を感じた(水俣を愛している人が多い)。
- 水俣でタツノオトシゴが見れるということを知りました。観光への起用に最適であると感じた。
- もっと水俣に興味を持つべきかと思った。ただ、きっかけがほしい。
- 全てのテーマにおいて、重要なのは「ヒト」だと感じた。
- 理想は多くあることから、市政にどんどん生かしてほしいと感じました。
- 何にしても、人と環境とのつながりは外せない。どこでも話が出てきた。
- 専門職ならではの意見が聞ける。
- 言いつばなしで終わらないか心配。
- 自分とは違う考えがあった。
- 皆が考えている問題、理想は同じことが多いこと。
- 自分の最初の席に戻ってきた時、模造紙がいっぱいになっていた事と、本当に同じテーマなの？という程様々な角度の意見が見れて良かった。
- 皆が水俣について色々な考えを持っている事が印象に残った。
- みんなの意見を叶えられるような施策を考えたいと思った。
- 様々な人が集まることで、自分の考えを越えたアイデアが聞けたこと。
- すべての基礎は人づくりでは！
- すべての場で人づくり、子育てについて語られていたこと。あらためて子どもは宝だと思いました。
- 独身の方が「子どもが大事」だと発言されたこと。子育てをしていないのにわかっている方がいることがうれしかった。
- 様々な人が様々な意見を持っていること。これを具体的な施策にしていくことは難しいかなと思う。
- 水俣にいる人たちのまちづくりに対する気持ち。強い。もっと活かしたいですね。
- 視点の広さ、勉強になりました。
- ある参加者にとっては水俣の強みだと思っていたことが、実は水俣の課題だったことなどがわかったことなどです。

質問4 次回のワークショップに何を期待しますか。ほか、自由意見

- アイデア出しだけのワークショップであればこのままでいいが、あと一歩すすめてこの先も何かしらで関われる任意の集まりを開催するなど、参加した側からしてやりっぱなしで終わらないように期待します。
- 今回の総合計画策定だけでなく、今後も、行政運営で生じる様々な課題を市民ワークショップという場にいつ

たん投げてみる、という取組がちらほらあるとおもしろそう。

- 今回のワークショップ方法はとてもよかったです。
- また皆さんと話ができることが楽しみです。
- もっとおもしろい意見が聞けそう。
- 実現可能な政策が提言できれば。
- 4回で終了ではなく違う形ででもワークショップを続けてほしい。
- 今回の意見をどのように政策に掲げるのか楽しみです。
- 今回は出会いのみだったので、次回はつながりをしっかり持ちたい。
- 課題から方策を案出する。現状とあるべき姿のギャップを埋める方策を！
- こうしたワークショップを行うことで、普段考えないようなことも考える機会が持てるので良いと思いました。
- ワorkshopで出た意見のフィードバック。
- 発展できる水俣になれる、つながるワークショップ。
- より現実味のある議論。
- これまでの総合計画の評価はどのようにされたのか？それは共有されないのか？
- 思いつかない(自分じゃ思いつかない)ような意見等。
- 市民の意見が反映されること。
- 今回初めての参加で緊張していたので、次回はもっと色々な話ができたら良いなと思います。
- 今回の話し合いの内容が1つでも実現につながることを期待します。
- 話し合う時間が短く感じた。
- 具体的な未来への道すじ。
- 課題からの発展が見えたら嬉しい。
- 当日にむけて前準備ができるような資料やプログラムを提供してくれたらうれしい。より活発な議論になると思う。
- アウトプット。ここまで出た意見を実現させられるか。
- 多くの意見が総合計画に生かされること。
- 今回のワークショップ(特に人づくり部会)については、10年後の理想の姿のみしか議論していないので、そうなるために、市民一人一人がそれぞれの立場で何をやっていくのかということを議論すべきだと思います。なお、とある参加者より「音楽の街づくり」「水俣を日本のウィーンに」という項目を強く押していただいていた意見がありました。